

常陸大宮市市制施行・合併10周年

～歴史と魅力を引き継いだ10年。さらに羽ばたく常陸大宮～

常陸大宮市は平成16年10月16日に誕生し、今年市制施行・合併10周年を迎えました。市では「歴史と魅力を引き継いだ10年。さらに羽ばたく常陸大宮」をコンセプトに、市民の皆さんには市へ愛着を持ってもらい、市外の方には、市の魅力を知っていただき、市として一体感の醸成を深め、将来に向かいさらなる飛躍と発展につながる契機とするため、様々な「市制施行・合併10周年記念事業」を実施しています。

今後も市民の皆さんと協働しながら、まちづくりに取り組んでいきます。

市長あいさつ

常陸大宮市長 三次真一郎

常陸大宮市市制施行・合併10周年にあたり、一言ごあいさつを申し上げます。

常陸大宮市は、平成16年10月16日、那珂郡大宮町、山方町、美和村、緒川村、東茨城郡御前山村が合併して、市制を施行し、新しい市として誕生しました。

この10年間にしましては、「常陸大宮市総合計画」を策定し、地域医療の中核として市民の要望でありました、二次救急医療機関である常陸大宮済生会病院の開院、市民の生活交通を確保するため、市民バスの市内全域運行や予約制乗合タクシーの運行開始、また計画的な造林、間伐などを進め、森林の保全や整備の推進など、将来像として掲げた「豊かな自然と調和した安心・快適な活力のまち」の実現に向けて、まちづくりを総合的に推進してまいりました。

引き続き行財政改革を進めながら、市民の皆様と協働のもと、誰もが「住みたい、住み続けたい、住んでよかった」と実感できるような県北西部の中核都市をめざして、これからも全力でまちづくりに取り組んでまいり所存でありますので、ご指導、ご理解をよろしくお願いいたします。

「常陸大宮市の10年の歩み」

2004年10月

那珂郡大宮町、山方町、美和村、緒川村、東茨城郡御前山村が合併、市制施行により常陸大宮市が誕生



2005年3月

応募総数934点の中から、市章が決定



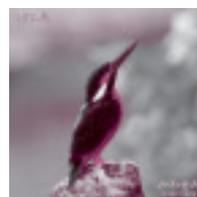
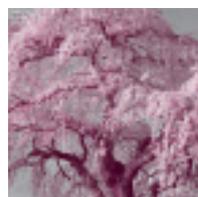
2006年7月

常陸大宮市田子内町に、地域の中核病院として「常陸大宮済生会病院」が開院



2007年8月

市の花・木・鳥が制定
花「ばら」・木「さくら」・鳥「かわせみ」に決定



2007年9月

市民憲章を制定
「わたしたちがつくるまちの姿」

2007年10月

市民バス 本格運行開始



2007年11月

ねんリンピック茨城 2007 開催
市では「なぎなた交流大会」を開催



2008年4月

三次真一郎市長が誕生



2008年12月

第23回国民文化祭・いばらき2008開催。市では「全国吟詠剣詩舞道祭」「西塩子の回り舞台歌舞伎公演」を開催



2009年4月

御前山地域の長倉、野口、伊勢畑小学校が統合して「御前山小学校」が開校



2009年10月

- ・合併5周年記念式典開催
- ・「常陸大宮大使」の誕生
- ・市マスコットキャラクター「ひたまる」の誕生（愛称については12月に決定）



2010年4月

予約制乗合タクシー市内全域運行スタート



2012年12月

SL奥久慈清流ライン号が運行



2011年3月

東日本大震災発生
(常陸大宮市では震度6弱を観測)



▲天井が崩落した文化センター大ホール

2013年3月

常陸大宮市
新消防庁舎
完成



2013年3月

「常陸大宮市及び周辺地域の和紙生産用具と製品」
が国登録有形民俗文化財に登録

2014年4月

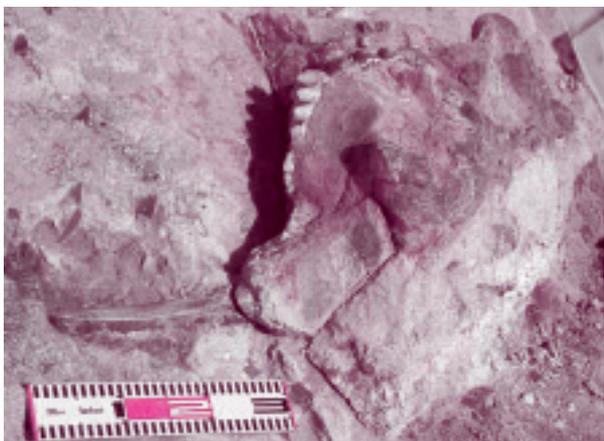
市の歌「君とこのふる
さとで」を制定



(市の歌CDジャケット)▶

2011年12月

常陸大宮市野上地域で古代象ステゴロフォドンの
頭蓋化石を発見



2014年6月

市の魚「あゆ」を制定

(あゆのぼり)▶



2014年10月

10月16日、常陸大宮市市制施行・合併10周年を
迎える